※令和４年度以降入学生用

学校番号	1016

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術１」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・視覚、触覚、感じ取ったことから思考する「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」「鑑賞」の分野について学習します。
・生徒同士が作品を相互に鑑賞（批評）することで、様々な違った視点や考え方を確認することができ、またそれらを共有することで理解がより深まったりします。
・人は思いや見方、感じ方がそれぞれ違います。「何をどのように表現したかったのか？」「作品や映像を観ることでどのように感じ考えたか？」美術の本質を大切にしてください。

2　学習の到達目標

（１）　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。
（２）　造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練り，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（３）　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①美術的な分野における造形的な視点について理解を深めている。 ②制作に必要な技術、知識を身につけ、教材に応じて表現方法を拡げる工夫をし、表している。 ＜鑑賞＞ 他の生徒の作品についての意見や感想を知る事で理解の幅を持たせる。	①造形的な良さや美しさ、表現の意図や創造的工夫について思考を深めている。 ②主題を基に、素材や表現の特性や造形性を考えて構想している。 ＜鑑賞＞ 映像表現や美術作品、またはそれらの作家性や時代背景、文化を感じることで理解を深めている。	①現代社会、日々の生活の延長として美術を捉えることができ、その中から創造活動を行い、製作過程で達成感や喜びを味わうことでより美術としての文化、鑑賞の関心を深めている。 ＜鑑賞＞ 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に鑑賞活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現と選択	【鑑賞】【デザイン】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・表現における、題材などを使用する場合の取り扱いについて、知的財産権や著作権を理解する。	a:美術の歴史と文化について自分との関連性を考えている。 b:作品制作において留意点を踏まえた上で表現を行うことの意味や思考を深めている。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	スケッチ 完成作品	スケッチ ワークシート	目標設定・振り返りシート 観察
	表現Ⅰ・Ⅱ	【平面】 ・鉛筆デッサン 濃淡の表現と基礎的な技法（鉛筆の持ち方・削り方、描画の方法）を学ぶ	a:デッサンの目的や鉛筆の特性や技法を理解している。 b:鉛筆の特性を生かして技法を工夫し、表現の構想を行っている。 c:濃淡の表現や材料の特性に関心を持ち、表現の活動に取り組もうとしている。	スケッチ 完成作品	スケッチ ワークシート	目標設定・振り返りシート 観察
	色のイメージ	【デザイン】 ・色彩の基礎 ・色彩構成 画用紙にアクリル絵の具で着色する。それぞれのイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。	a:配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージでとらえることを理解している。 ｂ：伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、配色の効果と美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ｃ:配色の効果や構成などの造形的特徴を理解し、表現方法などを創意工夫して表す活動に取り組もうとしている。	スケッチ 完成作品	スケッチ ワークシート	目標設定・振り返りシート 観察
2学期	デザインポスター	【デザイン】 ・ポスター制作 伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する	a:様々な造形的要素やアクリル絵の具の特性を理解しており、ポスターが社会に果たす役割について考え、理解している。 b:伝えたい内容にふさわしい形や色彩、文字やイラストなどを組み合わせて表現の構想を練っている。 c:ポスターの伝達機能やアクリル絵の具の表現効果を理解し、ポスターの社会的働きについて考え理解し表現しようとしている。	スケッチ 完成作品	スケッチ ワークシート	目標設定・振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	彫刻	【絵画・彫刻】 ・木彫 作品のイメージに合った質感の表現を工夫して生命観や存在感を彫りだす。	a:形や質感、量感、重心やバランス、動静などの効果、全体のイメージなどを捉え、木という材料の特性を生かして表している。 b:形や質感、重心などの効果を考え、構想を練り、観賞することができる。 c:木の特性や質感を作品のイメージに生かして彫像に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	スケッチ 完成作品	スケッチ ワークシート	目標設定・振り返りシート 観察
	鑑賞	【観賞】 ・作家の生涯と作品を知る 北斎の生涯や作品を知り，表現の豊かさやおもしろさを感じ取る。	a:構図や色彩などの効果、版画の技術などに着目し、全体のイメージや作風、様式などを捉えている。 b:北斎の生涯や浮世絵版画の発展の歴史、作品の良さや美しさについて考えている。 c:北斎の生涯や浮世絵版画の歴史、作品のよさや美しさなどを観賞する活動に取り組もうとしている。	スケッチ 完成作品	スケッチ ワークシート	目標設定・振り返りシート 観察
3学期	ワイヤークラフト	【デザイン】 ・身近な素材で立体表現 素材の可塑性や弾力性、質感や加工・接着の方法などを理解して素材を生かした表し方を工夫する。	a: 形や質感、量感、重心やバランス、動静などの効果、全体のイメージなどを捉え、素材の特性を生かして表している。 b:形や質感、重心などの効果を考え、構想を練り、観賞することができる。 c:素材を理解し、立体に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	スケッチ 完成作品	スケッチ ワークシート	目標設定・振り返りシート 観察
	アニメーション	【アニメーション】 【鑑賞】 ・アニメーション制作・鑑賞 テーマを基に、絵コンテを描くなどして画面の変化のさせ方や速度などを検討しアニメーションを制作している。	a:目的や条件などを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表している。 b:画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの効果を考え、表現効果や伝達効果を工夫する。 c:映像メディア機器等の特性を生かした表現方法などを創意工夫して表す活動に取り組もうとしている。	スケッチ 完成作品	スケッチ ワークシート	目標設定・振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度